

読書の家から



新刊案内

■あぶた読書の家

△一般▽賢く生きるより、辛抱強いバカになれ(稲盛和夫/山中伸弥)▽小泉純一郎

▽考えない台所(高木多美)

▽北海道で育てる宿根草(北村真弓/高林初/工藤敏博)

▽北海道で育てるバラ(石渡杏奈/工藤敏博)▽本当に

「英語を話したい」キミへ(川島永嗣)▽ツバキ文具店

(小川 糸)▽天下一の軽口男(木下昌輝)▽竜の道入昇

龍編▽(白川 道)▽坂の途

中の家(角田光代)▽ザ・原発所長(上・下)▽(黒木亮)

△児童書▽お母さんのアド

リブ絵本ぽぼちゃん① おまじないいづい・ぷんちち(まつむらあきこ)

■みずうみ読書の家

△一般▽眩△くらら▽

(朝井まかて)▽村に火をつ

け白痴になれ(栗原 康)▽防諜捜査(今野 敏)▽ツバ

キ文具店(小川 糸)▽総理に告ぐ(永瀬隼介)▽京都市

らい(井上章一)▽硝子の太陽R(菅田哲也)▽朝子イ

ンド独立の志士(笠井亮平)▽ポイズンドクター・ホーリ

ーマザー(湊かなえ)▽死の

舞い(佐伯泰英)▽竜と流木

(篠田節子)▽秋霜(葉室 麟)

▽パナマ文書(渡邊哲也)▽

荒仏師運慶(梓澤 要)▽ヒ

ーロー(白岩 玄)▽天下一

の軽口男(木下昌輝)▽ひと

さじのはちみつ(前田京子)

■洞爺総合センター図書室

△一般▽北の街物語(内田康夫)▽人体と宇宙のリズ

ム(ルドルフ・シュタイナ

ー)▽ピンクとグレー(加藤シゲアキ)▽いつか他人にな

る日(赤川次郎)▽この年齢

だった(酒井順子)

●開館時間

●あぶた(☎76・2100) 10時~16時20分まで

●みずうみ(☎76・4702) 10時~15時まで

●7月休館日

14日・18日・21日・28日・8月1日・4日

(毎週木曜日・祝祭日休館)

ピノキオ読み聞かせの会

●日時 7月13日(水) 14時30分

●場所 あぶた読書の家

わたしのうた

短歌 【あぶた短歌会】

六月定例会



庭さきの雑草ようやく取り終へて

変らぬ調子をなによりとして

春の花終りて狭庭も淋しかり

夏草のみが生ひ茂りゆく

農作業に疲れし妻をねぎらひつ

小松菜そだち食卓にぎはふ

蝶も舞ふ雑草ゆらぐはつ夏の

朝の風は吹きぬけてゆく

低気圧の通過の朝は救急車

なんども走り乗る人案ずる

山木 孝

北島 加代

太田 智

大西 芳子

元田フジ子

俳句 【あぶた俳句会】

六月定例会

春の地震清正の城崩れけり

独活摘みて酢味噌あえこそ我が好み

伐採の音や絶たるる山清水

父形見甚兵衛更衣母に見せ

嶺々よりの風なごみけり更衣

背比べ子に負け空に鯉のぼり

千葉 征子

三瓶 修

菅原 敏子

小笠原 勇

矢野 知子

佐藤 美風

今月の1冊



妖怪一家九十九さん シリーズ(既6巻)

作 富安陽子
作 山村 浩二

九十九家の七人家族は、実は妖怪なんです。

巨大団地に、人間たちに混じって、こっそり団地生活を始めた妖怪一家。

最も大切なルールは、「ご近所さんを食べないこと」。富安陽子の「ユーモア・ホラー」決定版!

